

佐和高校だより

ボランティア活動報告

一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業

「心の教育」の充実とコミュニケーション能力の育成～体験活動を通して～



宮城県震災復興ボランティア

本校野球部は、東日本大震災で多くの犠牲者を出した宮城県の大川小学校に行き、毎年2回（夏・冬）ボランティア活動をしていました。

今年度は、一人一人が輝く活力ある学校作り推進事業の一環として一般生徒からも希望を募り、野球部と一般生徒約50名で大川小学校でのボランティア活動となりました。校舎の掃除や周辺の除草作業をしたあと、遺族の方々のお話を聞くことができました。



★感想より★

・今回私は3度目の参加をした。正直、大川小学校の現状に見慣れてしまったが、3度目だからこそ、被災地の今を理解し、大川小学校を身近に感じてきた。去年と違って1年生に指示をする立場なので、責任を感じながら取り組んだ。たくさんの花で溢れ、きれいになっていく校舎を見て、大川小学校は生き続けていると感じた。震災から8年たった今でも、地域の方々に愛され、多くの観光客が訪れ、佐和高校だけでなくその他にもたくさんの高校が復興に協力していて、自分が行ったボランティアは決して無駄ではならず、生かされているんだと去年よりも強く感じた。（野球部マネージャー2年）



・ニュースで当時話題になっていたが、なんでこんなにたくさんの方が亡くなってしまったのだろうと疑問に思っていた。今回、一般の生徒も行けると知り、迷わず応募して、参加できて本当に良かった。

一番感じたことは、命の大切さである。身近にいる人を大切にしたいと思ったことである。また、自分は教員志望であるが、もし先生の立場であったら、どうすればよかったのか、もっと子供たちの声を聴いてあげればよかったのと思った。

自分は大洗に住んでいるので、海からの津波の怖さを知っている。しかし、川からの津波も本当に恐ろしいものだとあらためて知らされた。（一般3年男子）



生徒がインストラクターを務める公開講座

【おもしろ実験・楽しい工作教室】

7月26日、科学部

偏光板：箱の中に壁があるように見える

のですが棒を通すと“あら不思議”壁がない!!

スライム作り：ぐによくによ、ぷによぷによの感触が人気。混ぜる割合を変えると固さが変わるので何度も挑戦!!

サッカーボール：五角形に切った紙を輪ゴムとホチキスでつなげて枠を作り、その中でゴム風船をふくらませるとサッカーボールが完成!!

★感想より★

- ・みんな面白かった。
- ・スライム作りが楽しかった。
- ・スライムの材料や作り方がわかったし、偏光板で実際には壁が見えるのがすごいと思った



不思議な壁



スライム



サッカーボール



【茶道教室】

7月25日・26日 図書室

内容：お菓子の取り方・食べ方
お茶のたて方・飲み方



★茶道部員より★

- ・皆さんに喜んでもらえてうれしかった
- ・教える立場になってわかりやすく伝えることの難しさを学ぶことができた。

★参加者（16名）の感想より★

- ・楽しく体験できた。
- ・茶碗を回すのが難しかった。
- ・上手にお茶をたてたい。

こんにちは!! お菓子の取り方は



手を添えて

ゆっくり丁寧に



お茶碗を回すんだよ



【読み聞かせボランティア】 田彦公民館 7月20日(土)

読み聞かせが始まると子どもたちは、部屋の雰囲気が変わり本に集中しました。紙芝居を含め、佐和高校生で計4冊読み聞かせをしました。その後、工作遊びの手伝いをしました。今後も毎月第3土曜日に行います。



【バレーボール部ボランティア】

校外清掃9月10日

台風の後通学路に落ちていた木の枝等の清掃をしました。

ほかにも色々な場面で清掃をしています

